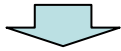
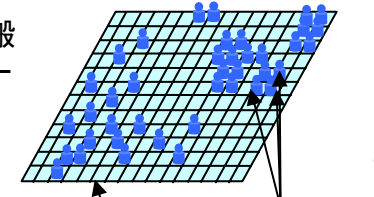


研究背景および目的

国際的な環境政策を対象として、有害化学物質の伝搬が生態系に及ぼす影響をマルチエージェントシミュレーション(MAS)に適用

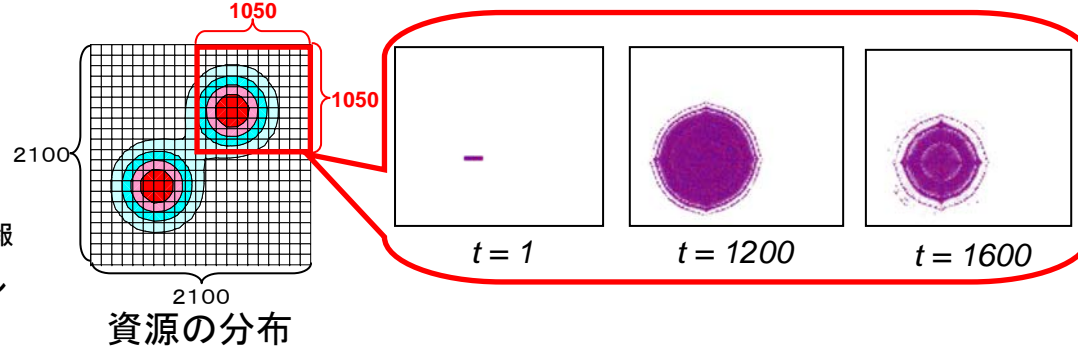


地球規模(世界人口、地球表面積)に基づくシミュレーションモデルへの拡張と超並列計算機を指向したプログラミングモデルの確立



環境空間情報 エージェント情報
対象とするMASモデル

シミュレーション例



大規模MASプログラミングモデル

マスタ・ワーカとメッセージパッシングを併用することによる演算負荷分散と大規模記憶領域確保の実現

